

BRAUN

ブラウン
マルチサーブ
コーヒーメーカー



もくじ

取扱説明書

保証書付

ご使用前に必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。
巻末に保証書が添付されておりますので、大切に保管してください。

安全上のご注意	2	給湯する	12
設置場所について	3	お手入れ	14
各部の名称とはたらき	4	故障かな？	16
初めて使う前に	7	仕様	17
活性炭フィルターの取り付けかた	8	別売品	17
コーヒーを抽出する	10	アフターサービス	18
設定した時刻にコーヒーを抽出する (タイマー抽出)	12	保証書	19

※本体の型式番号「KF9170」の後に続くアルファベットは、色番号を表すものです。

www.braunhousehold.com/ja-JP/

KF9170

はじめに

- このたびはブラウン製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品を正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。お読みになったあとは、保証書とともに大切に保管してください。
- 本書に記載の内容は、改善のために予告なく変更する場合があります。
- 本書のイラストや画像は説明用のものであり、実際の製品と一部異なる場合があります。

安全上のご注意＜必ずお守りください＞

ご使用の前に必ずこの「安全上のご注意」を最後までお読みください。

ここに示した注意事項は製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人への損害を未然に防止するものです。



警告

誤った取り扱いをしたとき、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの



注意

誤った取り扱いをしたとき、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつく可能性のあるもの

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です)



必ずしなければいけないことを示します。



してはいけないことを示します。

警告



指 示

- **定格 15A (100V) のコンセントを単独で使用する**

(火災、感電の原因)

- ・ゆるんだコンセント、延長コード、テーブルタップなどは使用しない
- ・海外など、異なる電源電圧の地域で使用しない(日本国内専用)

- **電源プラグは根元までしっかり差し込む**

(火災の原因)

- **電源プラグやコンセントのほこりは定期的に乾拭き掃除をする**

(火災の原因)

- **電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜く**

(火災、感電の原因)

- **異常、故障時には直ちに使用を中止する**

(火災、感電、やけどの原因)

＜異常・故障例＞

- ・電源プラグ・コード、本体が異常に熱くなる
- ・異常な音やにおいがする
- ・本体に破損や変形がある
- ・本体から水や蒸気が漏れる

※異常、故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、販売店またはブラウンハウスホールドお客様相談室へ点検、修理を依頼してください。



禁 止

- **本体や電源プラグ・コード、コンセントに水をかけたり、水に浸けたり、水洗いしたりしない**

(火災、感電の原因)

※誤って水をこぼしてしまった場合は直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、販売店またはブラウンハウスホールドお客様相談室へ点検、修理を依頼してください。

- **濡れた手で本体を触ったり、電源プラグを抜き差ししない**

(感電の原因)

- **動作中に電源プラグを抜き差ししない**

(火災、感電の原因)

- **電源プラグ・コードを破損させない**

(火災、感電の原因)

- ・傷付けたり、加工したり、加熱したりしない
- ・無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない
- ・引っ張ったり、重いものを載せたり、挟み込んだりしない

・コードを引っ張って本体を移動させない

※電源プラグ・コードに破損、変形などの異常があるときは直ちに使用を中止し、販売店またはブラウンハウスホールドお客様相談室へ点検、交換を依頼してください。

- **電源コードはテーブルなどの端から垂らしておかない**

(やけど、けがの原因)

- **製品の表面にひびが入っている場合は使用しない**

(火災、感電、けがの原因)

警告



禁止

- 分解、修理、改造をしない
(火災、感電、やけどの原因)
- 穴、すき間、開口部に指やピン、針金などを差し込まない
(火災、感電、けがの原因)
※特に小さなお子様にはご注意ください。
- 保温プレートにガラスジャグがない状態で使わない
(やけどの原因)



禁止

- 子供など取り扱いに不慣れな方、介助を必要とする方だけで使わせたり、乳幼児の手の届くところで使用しない
(火災、感電、やけど、けがの原因)
※本製品は、安全に関する知識や経験が少ない方の使用は想定しておりません。お子様、乳幼児、取り扱いに不慣れな方が近くにいるときは、必ず操作できる大人が付き添ってください。また、子供が機器(電源コード含む)で遊ばないように監視してください。
- 機器の使用直後、本体や給水タンクのふたを開けたり、水を入れたりしない
(やけどの原因)
※お湯が噴き出す場合があります。

注意



指示

- 長期間使用しない場合は、必ず電源プラグを抜く
(火災の原因)
- お手入れや保管、本体の移動は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体各部や付属品が冷えてから行う
(感電、けが、やけどの原因)
※小さな子供だけで掃除やお手入れを行わないよう、必ず大人が付き添ってください。



禁止

- 電源の入切をするための部品(外部タイマーなど)やその他の製品、部品、遠隔操作システムなどを組み合わせて使用しない
(火災、感電の原因)
- ガラスジャグを載せたまま本体を移動しない
(やけど、けがの原因)
- 電源が入っているときや、電源を切った後しばらくは、保温プレートに触れない
(やけどの原因)
- 決められた水量を超える水を給水タンクに入れない
(やけどの原因)
※ガラスジャグは空にしてから使用してください。お湯やコーヒーがあふれることがあります。
- 本製品を業務用で使わない
(火災、感電の原因)
※本製品は次の用途を含む家庭用電気製品です。使用者が必要ときに読めるよう、手の届く所に本書を保管してください。
 - ・店舗、事務所、仕事場などのスタッフ用キッチン
 - ・ファームハウス
 - ・ホテル、旅館、民宿などの宿泊施設
- ガラスジャグを直接火にかけたり、電子レンジで加熱したりしない
(やけど、けがの原因)
- ガラスジャグを急激に加熱したり冷却しない
(破損、変形の原因)



禁止

- 他の用途で使わない
(火災、感電、けがの原因)
- 火気の近くや直射日光が長時間あたる場所で使わない
(火災、感電の原因)
 - ・熱源の近くで使わない
 - ・屋外や湿気の多い場所で使わない
- 不安定な場所で使わない
(火災、やけどの原因)
 - ・テーブルクロスなどの敷物の上やテーブルの端など不安定な場所で使わない
 - ・熱に弱いテーブルの上、壁、家具などの近くで使わない
 ※蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色、変形の原因となります。
- 扉付きのキッチン用収納棚やキャビネットの中に置いたまま使わない
(火災、やけどの原因)
- 使用中および使用後しばらくは、高温部に直接触れない
(やけどの原因)



高温注意

設置場所について

- 室温が0℃以下になる場所に設置しないでください。(故障の原因)

各部の名称とはたらき



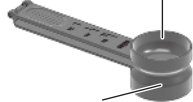
- ・ご使用前に輸送用の梱包材や粘着テープなどを必ず外してください。
- ・製品に損傷がないこと、付属品が揃っていることを確認してください。
- ・ご使用前に、「お手入れ」(14 ページ)を参照して、各部を洗ってください。



付属品

計量スプーン (両面)

スプーン(小)
すり切り 1 杯：約 6g



スプーン(大)
すり切り 1 杯：約 7.5g

計量スプーンで、袋をクリップ
できます。



※コーヒー豆は付属しません。

活性炭フィルター



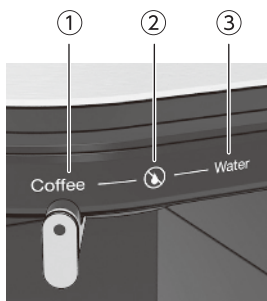
説明シール



本体のコントロールパネル
の横に貼り付けられます。

■レバー

コーヒー抽出、ドリップストップ、給湯を切り替えるレバーです。左右に動かしてマークに合わせます。

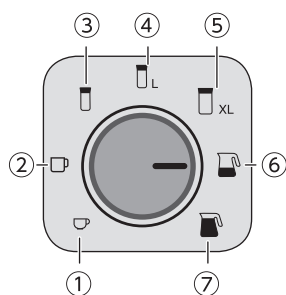


	マーク	説明
①	Coffee (コーヒー)	コーヒーを抽出するときに合わせます。
②	 (ドリップストップ)	電源の入／切をするとき、コーヒー抽出や給湯後、コーヒー抽出を中断するときに合わせます。 ※ガラスジャグやカップなどを外す前に、必ず「」に合わせてください。 <コーヒー抽出を中断する場合> コーヒー抽出中にレバーを「」に合わせると、抽出が止まり抽出モードボタンが点滅します。 ・2分後に「ピー、ピー、ピー」と鳴って抽出を終了します。再開するときは2分以内にレバーを戻してください。 ・ゴールドモードの抽出を中断すると、ECBC の認証要件を満たさない場合があります。 <給湯の場合> 給湯が中止します。
③	Water (給湯)	給湯するときに合わせます。

・「Coffee」に合わせると内部のお湯や水が抽出口から出る場合があります。必ず先に容器をセットしてください。

■抽出量設定ダイヤル

コーヒー抽出量や給湯量を設定するダイヤルです。ダイヤルを回して設定したい量のマークに合わせます。

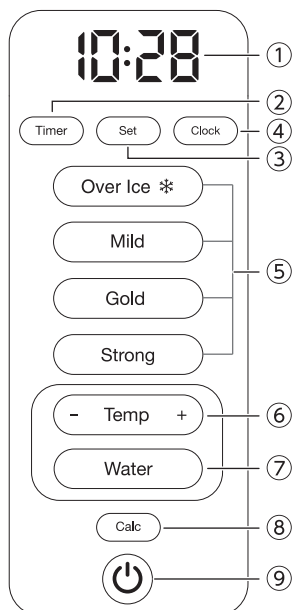


	マーク	目安量(約) [※]	説明
①		125mL	抽出後約 60 秒間操作しないと電源が切れます。
②		250mL	
③		330mL	
④		450mL	
⑤		590mL	
⑥		625mL	抽出後、保温モードに切り替わり、約 40 分後に電源が切れます。保温モードは保温プレートが高温になるため、ガラスジャグをご使用ください。他の容器では、熱により破損するおそれがあります。 ・Mild、Gold、Strong のときはフレッシュ表示も有効になります。 ・Over ice のときは保温モードに切り替わりません。
⑦		1250mL	

※使用する水の目安量です。水タンクに目安量以上の水を入れてください。

■コントロールパネル

抽出や給湯操作、設定を行います。



	ボタン／表示	説明
①	ディスプレイ	時刻、給湯温度、フレッシュ表示（保温カウントダウン）などを表示します。 ※初めて電源プラグに差したとき、または長時間電源プラグを抜き、再度電源プラグに差したときは、「2:00」が点滅表示します。
②	Timer (タイマーボタン)	タイマー抽出の設定をします。(12 ページ)
③	Set (セットボタン)	高度 (標高) 設定や、設定値を確定します。(8 ページ)
④	Clock (時刻ボタン)	時刻設定をします。(7 ページ)
⑤ (抽出モードボタン)	Over ice (アイスコーヒーモードボタン)	アイスコーヒーを抽出します。(10 ページ)
	Mild (マイルドモードボタン)	マイルド (薄い) コーヒーを抽出します。(10 ページ)
	Gold (ゴールドモードボタン)	ECBC 認証のコーヒーを抽出します。(10 ページ) ※高精細な抽出テクノロジーにより、コーヒーの最適な味を引き出し、ヨーロッパコーヒーブリュイングセンター (ECBC) の認証を取得しています。抽出温度 (92 ~ 96℃) や抽出時間の精密なコントロールにより、パーフェクトなコーヒーを実現します。 ※ ECBC 認証の要件を満たすため、ペーパーフィルターを使うことをおすすめします。 おいしいコーヒーをいれるために大事なこと (ECBC) ・ 抽出温度 92 ~ 96℃ ・ 抽出時間 4 ~ 6 分 ・ コーヒー粉と水の比率 7.5g : 125mL
	Strong (ストロングモードボタン)	ストロング (濃い) コーヒーを抽出します。(10 ページ)
⑥	- Temp + (給湯温度設定ボタン)	給湯温度を設定します。(12 ページ)
⑦	Water (給湯ボタン)	給湯します。(12 ページ)
⑧	Calc (除石灰ボタン)	石灰を除去します。 石灰の除去が必要になると点滅してお知らせします。
⑨	電源ボタン	電源の入／切をします。 電源が入っているときは点滅や点灯 (緑) します。 ※レバーが「☑」のときは点滅、「Coffee」「Water」のときは点灯します。

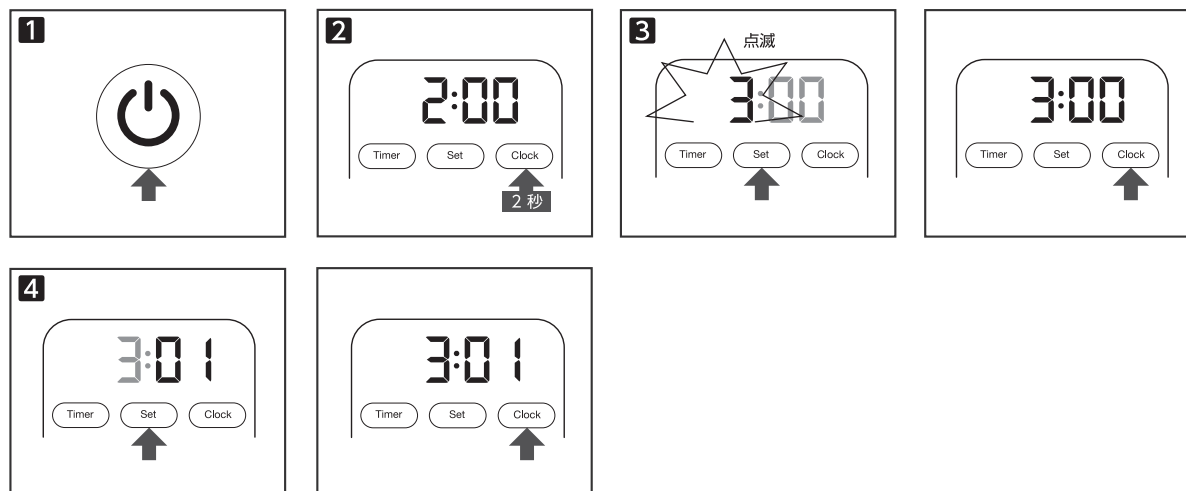
- ・ ⑨ を押してから約 60 秒間操作しないと電源が切れます。
- ・ 抽出量や抽出モード、給湯温度は抽出が始まると変更できません。

初めて使う前に

- 本製品を初めて使うときは、「現在時刻設定」と「高度（標高）設定」、「内部洗浄」を行ってください。

現在時刻を設定する

- 初めて使うときや長時間電源プラグをコンセントから抜いていたときは、現在時刻を設定してください。
※電源プラグを差したときに現在時刻の設定が記憶されていれば、再度設定する必要はありません。「2:00」が点滅表示しているときは再設定が必要です。



1 電源プラグをコンセントに差し込み、を押す

- ・「ピッ」と鳴って、電源ランプ（緑）が点滅します。

2 Clock ボタンを約 2 秒長押しする

- ・「時」が点滅します。

3 Set ボタンを押して「時」を設定し、Clock ボタンを押す

- ・「時」が確定し、「分」が点滅します。

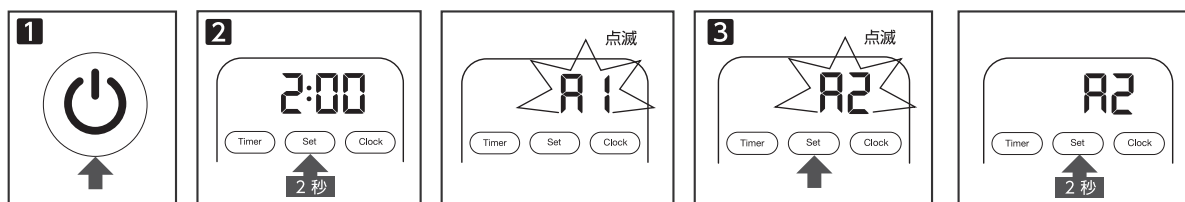
4 Set ボタンを押して「分」を設定し、Clock ボタンを押す

- ・設定中に約 10 秒間操作しないと終了します。続けるときは、再度手順 2 から行ってください。
- ・時刻を合わせるときにボタンを押し続けると早送りできます。
- ・現在時刻を変更するときも、同じ操作を行ってください。

初めて使う前に(つづき)

高度(標高)を設定する

- 高度(標高)の高い環境では沸点が100℃より低くなるため正しく運転しない場合があります。初めて使うときや使用する環境の高度(標高)が変わったときは、高度(標高)を設定してください。



1 レバーを「⏻」に合わせ、電源プラグをコンセントに差し込み、⏻を押す

- ・「ピッ」と鳴って、電源ランプ(緑)が点滅します。

2 Set ボタンを約 2 秒長押しする

- ・「A1」が点滅します。

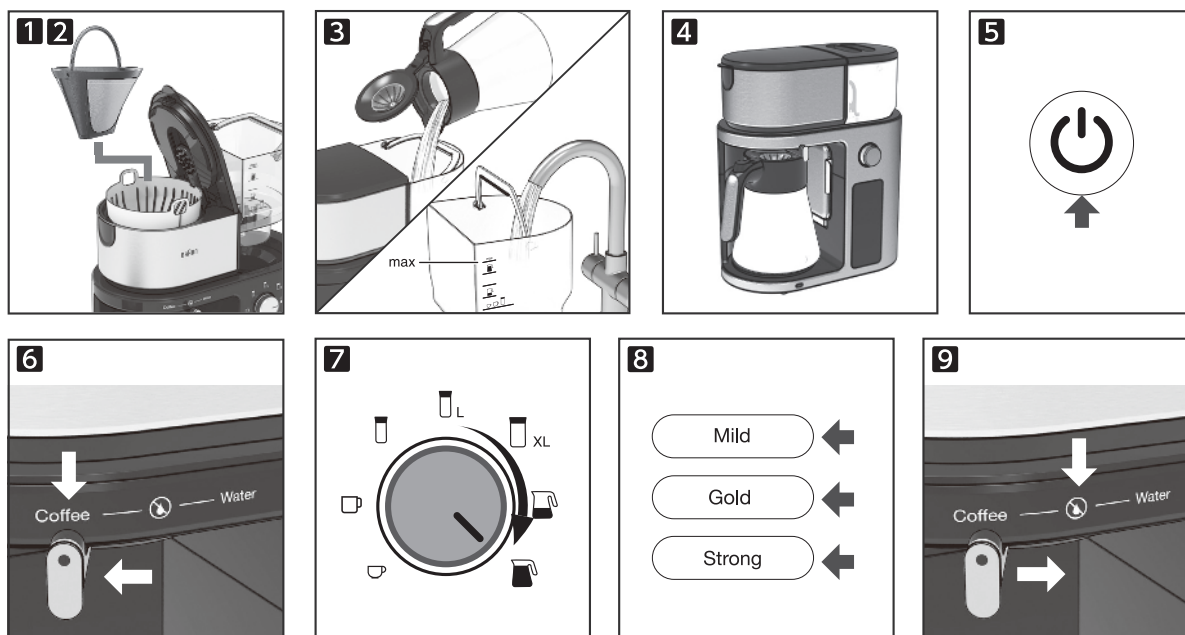
3 Set ボタンを押してご使用になる場所の高度レベルを選択し、Set ボタンを約 2 秒長押しする

高度 (m)	0-499	500-999	1000-1499	1500-1999	2000 以上
レベル	A1	A2	A3	A4	A5

- ・設定中約 10 秒間操作しないと終了します。続けるときは、再度手順2から行ってください。

内部洗浄する

- 初めて使うときや長期間使わなかったときは、コーヒー粉を入れずに水だけで 2 回抽出してください。



1 フィルターホルダーを取り付ける

2 ペーパーレスフィルターをフィルターホルダーに入れ、本体ふたを閉める

③ 水タンクの max まで水を入れ、水タンクふたを取り付ける

- ・水タンクの max 以上、水を入れないでください。
- ・水はガラスジャグから、または水タンクを取り外して直接入れます。直接入れる場合は取っ手を持ち、水タンクをもう片方の手で支えてください。
- ・水タンクふたを取り付けるときは、水タンクの取っ手を無理やり押し込まないでください。破損の原因となります。



水タンクに水以外（お湯、牛乳など）を入れない（やけど、故障の原因）

④ 空のガラスジャグを保温プレートに載せる

- ・ガラスジャグが保温プレートからはみ出していないことを確認してください。

⑤ 電源プラグをコンセントに差し込み、を押す

- ・「ピッ」と鳴って、電源ランプ（緑）が点滅します。

⑥ レバーを「Coffee」に合わせる

⑦ 抽出量設定ダイヤルを「」に合わせる

⑧ いずれかの抽出モードボタン（Mild、Gold、Strong）を押す

- ・「ピッ」と鳴って押した抽出モードボタンが点灯し、洗浄が始まります。

⑨ 「ピー、ピー、ピー」と鳴って洗浄が終わったら、レバーを「」に合わせ、ガラスジャグのお湯を捨てる

⑩ 手順③～⑧をもう一度行う



高温注意

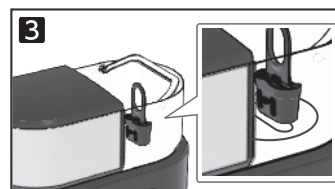
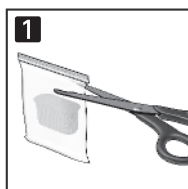
- ・抽出中にガラスジャグや容器を保温プレートやワンカップホルダーから外さない（やけどの原因）
- ・保温ランプの点灯中は保温プレートに触れない（やけどの原因）
- ・保温ランプの点灯中は空のガラスジャグや容器を保温プレートに置かない（やけどの原因）
- ・使用中および使用後しばらくは、高温部に直接ふれない（やけどの原因）

活性炭フィルターの取り付けかた

- 活性炭フィルターは水道水のカルキ臭などを除去する働きがあります。取り付けなくても抽出できますが、取り付けてのご使用をおすすめします。



- ・湿気の少ない冷暗所で保管し、開封後はすぐに使用する
- ・石灰の除去をする前に取り外す



① フィルターを取り出し、15 分以上水道水に浸ける

② フィルターホルダーの上部に置き、下部を折り畳みカチッというまで閉じる

③ 水タンクに取り付ける

以下のときは交換が必要です

- ・コーヒーを 80 回程度抽出した
- ・使用開始から 6 か月経った

※本製品を 2 日以上使用しなかったときはフィルターをお手入れしてください。（14 ページ）

活性炭フィルターは、お買い上げの販売店または当社オンラインショップでお求めください。（17 ページ）

コーヒーを抽出する

- 長期間使わなかったときは、コーヒー粉を入れずに水だけで2回抽出してください。(8 ページ)
- 中細挽き、または中挽きのコーヒー粉をお使いください。

1 2

※

裏返して ↓

1x4

3

max
min

4

コーヒー粉の量の目安

抽出量							
杯数 (すり切り)	1 杯	2 杯	5 杯	10 杯	3 杯	4 杯	6 杯
計量 スプーン	大				小		

5

6

7

Coffee Water

8

9

Over Ice ※ ←

Mild ←

Gold ←

Strong ←

10

40分後自動オフ

ビーブ音

1 フィルターホルダーを取り付ける

2 ペーパーレスフィルター（またはペーパーフィルター）をフィルターホルダーに入れ、本体ふたを閉める

- ・ペーパーレスフィルター、ペーパーフィルターのいずれかを使用します。両方同時に使わないでください。
- ・「Gold」で ECBC 認証のコーヒーを抽出するときはペーパーフィルター（市販の1x4 または103）を使用します。
※ペーパーフィルターを折り、フィルターホルダーに取り付けます。
※ペーパーフィルターがフィルターホルダーからはみ出していないことを確認してください。

3 水位計に合わせて水タンクに水を入れ、水タンクふたを取り付ける

- ・水はガラスジャグから、または水タンクを取り外して直接入れます。直接入れる場合は取っ手を持ち、水タンクをもう片方の手で支えてください。
- ・水タンクの から **max** の範囲で水を入れてください。
- ・水タンクふたを取り付けるときは、水タンクの取っ手を無理やり押し込まないでください。破損の原因となります。



水タンクに水以外（お湯、牛乳など）を入れない（やけど、故障の原因）

4 フィルターにコーヒー粉を入れ、本体ふたを閉める

- ・ コーヒー粉の量の目安は、4の図を参照してください。
※ ECBC 認証の推奨値は水 1L に対してコーヒー粉 60g (水 125mL に対してコーヒー粉 7.5g) です。

5 ガラスジャグや容器をセットする

- ・ ガラスジャグや高さのある容器は保温プレートに載せてください。高さがない容器は、ワンカップホルダーをセットして載せてください。
- ・ 容器が保温プレートやワンカップホルダーの中央にあり、はみ出していないことを確認してください。

アイスコーヒーを抽出するときは、耐熱性のある容器に氷を入れてください。

6 レバーを「☉」に合わせ、☉を押す

- ・ 「ピッ」と鳴って電源ランプ（緑）が点滅します。

7 レバーを「Coffee」に合わせる

8 抽出量選択ダイヤルをお好みの量に合わせる

- ・ 「抽出量設定ダイヤル」(5 ページ) を参照してください。

9 いずれかの抽出モードボタン (Mild、Gold、Strong、Over ice) を押す

- ・ 「ピッ」と鳴って選択した抽出モードボタンが点灯し、抽出が始まります。
- ・ 抽出を中断するときは、レバーを「☉」に合わせます。2分後に「ピー、ピー、ピー」と鳴って抽出を終了します。再開するときは2分以内にレバーを戻してください。
- ・ 抽出を終了するときは、同じボタンを押すか、レバーを「Water」に合わせます。
※ 抽出を中断すると ECBC 認証要件を満たさない場合があります。

アイスコーヒーを抽出するときは、Over ice を選択してから Strong を押してください。

10 「ピー、ピー、ピー」と鳴って抽出が終わったら、レバーを「☉」に合わせる

- ・ 「☐」や「■」を選択したときは、保温モードに切り替わり、ディスプレイにフレッシュ表示「40」が表示されます。約 40 分後に「ピー」と鳴って電源が自動で切れます。(オートオフ)
※ Over ice のときは保温モードに切り替わりません。
※ 保温ランプは保温プレートが熱いときに点灯します。
- ・ 続けてコーヒーをいれるときは、抽出後 5 分以上間隔をあけてください。

11 ☉を押して電源を切る



- ・ 抽出中にガラスジャグや容器を保温プレートやワンカップホルダーから外さない (やけどの原因)
- ・ 保温ランプの点灯中は保温プレートに触れない (やけどの原因)
- ・ 保温ランプの点灯中は空のガラスジャグや容器を保温プレートに置かない (やけどの原因)
- ・ 使用中および使用後しばらくは、高温部に直接ふれない (やけどの原因)

おいしいコーヒーをお楽しみいただくために

抽出後なるべく 40 分以内に飲みましょう

長時間保温プレートに載せたままにすると、風味が悪くなります。

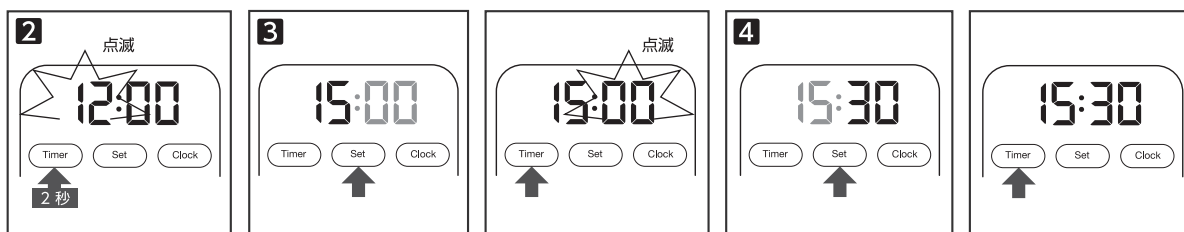
新鮮なコーヒー豆を使いましょう

2～3 週間程度で使いきれの量を買ひ、密閉できる容器に入れて冷暗所で保存します。

お好みのコーヒー豆を見つけましょう

種類や焙煎度によって、コーヒー豆にはそれぞれ特徴があります。酸味や苦味、コク、香りなどのお好みをお店のの人に伝えて、アドバイスをもらうのもよいでしょう。

設定した時刻にコーヒーを抽出する(タイマー抽出)



タイマー設定する

1 現在時刻を設定する (7 ページ)

2 Timer ボタンを約 2 秒長押しする

- ・レバーを「Coffee」に合わせます。
- ・「12:00」が表示され、「時」が点滅します。

3 Set ボタンを押して「時」を設定し、Timer ボタンを押す

- ・「時」が確定し、「分」が点滅します。

4 Set ボタンを押して「分」を設定し、Timer ボタンを押す

- ・設定中に約 10 秒間操作しないと終了します。続けるときは、再度手順 2 から行ってください。
- ・時刻を合わせるときにボタンを押し続けると早送りできます。

タイマー抽出する

1 「コーヒーを抽出する」の手順 1～3 を行う

2 Timer ボタンを押す

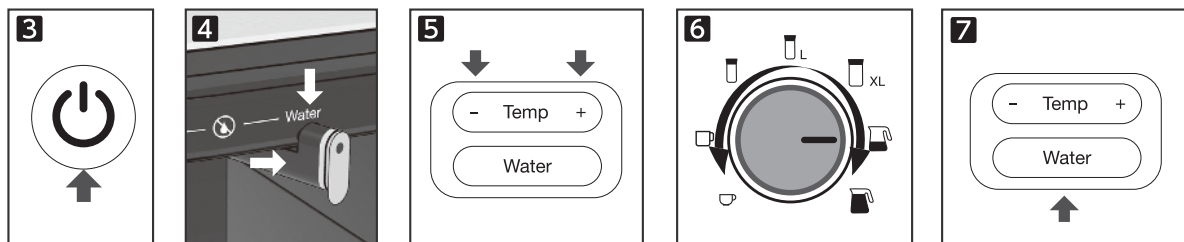
- ・Timer が点滅します。

3 いずれかの抽出モードボタン (Mild、Gold、Strong) を押す

- ・「ピッ」と鳴って選択した抽出モードボタンが点滅します。
- ・設定した時刻になると「ピッ」と鳴って選択した抽出モードボタンが点灯し、自動で抽出が始まります。
- ・タイマー設定中に抽出や給湯はできません。タイマー設定を解除してください。
- ・設定を解除するときは、もう一度 Timer ボタンを押します。レバーを「☕」 「Water」の位置にしても設定が解除されます。電源を切っても設定は解除されません。
- ・設定した時刻を確認するには Clock ボタンを押します。

給湯する





1 水位計に合わせて水タンクに水を入れ、水タンクふたを取り付ける

- 水はガラスジャグから、または水タンクを取り外して直接入れます。直接入れる場合は取っ手を持ち、水タンクをもう片方の手で支えてください。
- 水タンクの から **max** の範囲で水を入れてください。
- 水タンクふたを取り付けるときは、水タンクの取っ手を無理やり押し込まないでください。破損の原因となります。



水タンクに水以外（お湯、牛乳など）を入れない（やけど、故障の原因）

2 ガラスジャグや容器をセットする

- ガラスジャグや高さのある容器は保温プレートに載せてください。高さがない容器は、ワンカップホルダーをセットして載せてください。
- 容器が保温プレートやワンカップホルダーの中央にあり、はみ出していないことを確認してください。

3 電源ボタンを押す

- 「ピッ」と鳴って電源ランプ（緑）が点滅します。

4 レバーを「Water」に合わせる

5 - Temp + ボタンで給湯温度を設定する

- 70℃ / 75℃ / 80℃ / 85℃ / 90℃ / 95℃を選択できます。

【設定温度の目安】

抽出温度(約)	70℃	75℃	80℃	85℃	90℃	95℃
種類	白茶		ジャスミン茶	烏龍茶	紅茶	ハーブティー 玄米茶 ほうじ茶 番茶
	緑茶					

※設定温度は目安です。使用環境により異なります。

6 抽出量選択ダイヤルをお好みの量に合わせる

- 「抽出量設定ダイヤル」(5 ページ) を参照してください。

7 Water ボタンを押す

- 「ピッ」と鳴って給湯を始めます。
- 給湯を中断するには「Water」ボタンを押します。2 分後に「ピー、ピー、ピー」と鳴って給湯を終了します。再開するときは 2 分以内に「Water」ボタンを押してください。
- レバーを「Coffee」「☕」に合わせると給湯を終了します。

8 「ピー、ピー、ピー」と鳴って給湯が終わったら、レバーを「☕」に合わせる

9 電源ボタンを押して電源を切る



高温注意

- 給湯中にガラスジャグや容器を保温プレートやワンカップホルダーから外さない（やけどの原因）
- 保温ランプの点灯中は保温プレートに触れない（やけどの原因）
- 保温ランプの点灯中は空のガラスジャグや容器を保温プレートに置かない（やけどの原因）
- 使用中および使用後しばらくは、高温部に直接ふれない（やけどの原因）

お手入れ



- ・本体や電源プラグ・コードは、絶対に水に浸けたり水洗いしない
- ・電源を切って電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷えてからお手入れする（感電、けが、やけどの原因）
- ・ベンジン・シンナー・アルコール・研磨剤・漂白剤・たわし類・メラミンスポンジは使わない（傷、変色の原因）
- ・食器洗い機で洗う時は、上部の棚に置き、75℃以上のコースは使用しない（破損の原因）

- ・ペーパーレスフィルター ・フィルターホルダー ・ガラスジャグ ・水タンクふた
- ・水タンク ・活性炭フィルターホルダー ・計量スプーン

水洗いできます



1. スポンジと台所用中性洗剤で洗い、水ですすぐ

2. 乾いた布巾で水分を拭き取り、乾燥させる

- ・ペーパーレスフィルターが目詰まりした場合は、少量の台所用中性洗剤を入れたぬるま湯に浸けてから洗ってください。

活性炭フィルターホルダーを洗う前に活性炭フィルターを取り外してください。

※ガラスジャグのふたは 45 度位開いてから上に引き抜いてください。

- ・活性炭フィルター

水洗いできます

食器洗い機で洗えません



2 日以上お使いならなかった場合、活性炭フィルターケースから取り外し、ていねいに水で洗った後、よく乾かしてください。（カビが発生したり、ケースの内側によごれがたまるおそれがあります）

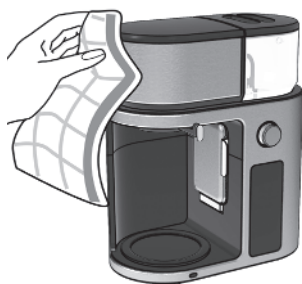
※台所用洗剤などは使用しないでください。

- ・本体

水洗いできません

食器洗い機で洗えません

固く絞った濡れ布巾で拭いた後、乾いた布巾で拭く

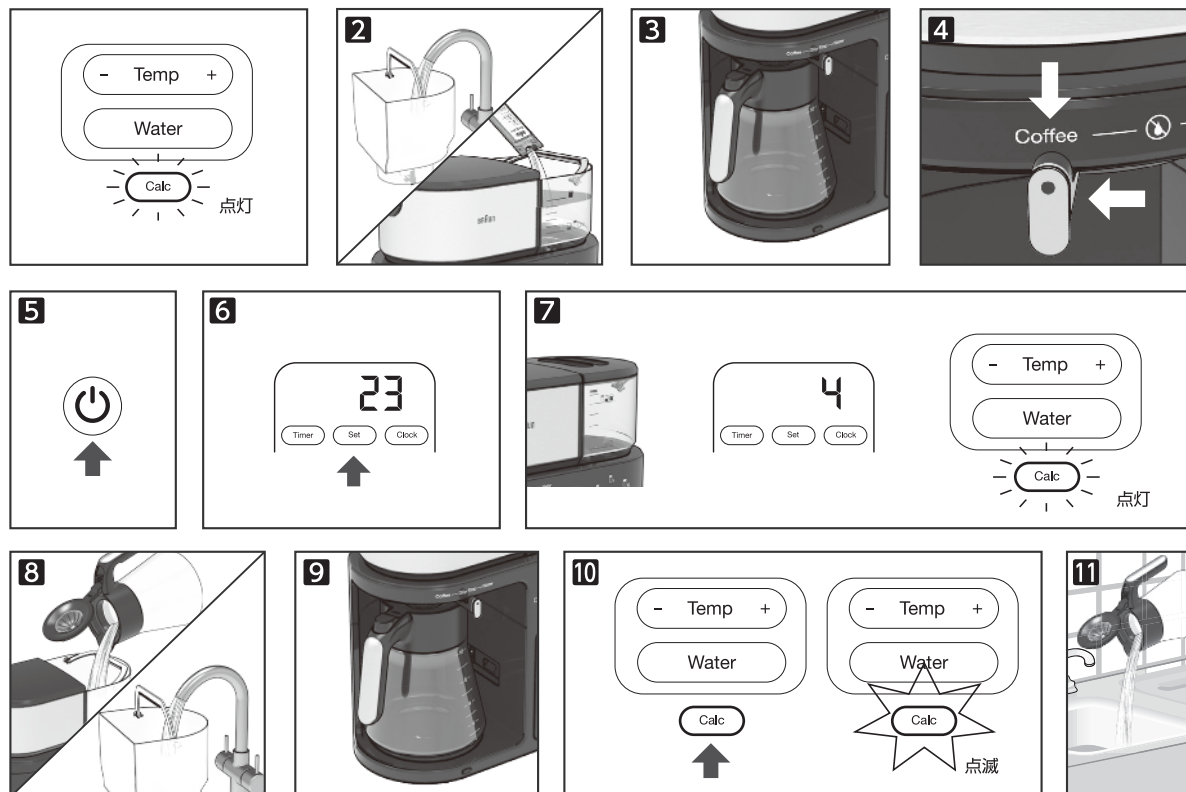


石灰を除去する

Calc が点灯したら（約 200L 抽出すると点灯します）

使っているうちに、水に含まれる石灰成分が内部に付着します。故障の原因になるため、定期的に石灰の除去を行ってください。除石灰剤は、当社オンラインショップ（17 ページ）でお求めください。

※石灰の除去作業（所要時間 30 分程度）は中断できません。余裕をもって行ってください。



1 活性炭フィルターとペーパーレスフィルターを取り外す

2 水タンクに除石灰剤 100mL と max まで水を入れ、水タンクふたを取り付ける

3 空のガラスジャグを保温プレートに載せる

4 レバーを「Coffee」に合わせる

5 ㊤を押す

- ・「ピッ」と鳴って、電源ランプ（緑）が点滅します。

6 Set ボタンを押す

- ・ディスプレイに石灰の除去が終わるまでの時間表示「23」が表示され、石灰の除去が始まります。
- ・石灰の除去が完了するまで他の操作はできません。

7 水タンクが空になったら、ガラスジャグにたまった水を捨てる

- ・水タンクが空になるとディスプレイに「4」が表示され、Calc が点灯します。

8 ガラスジャグの 10 まで水を入れ、水タンクにそそぎ、水タンクふたを取り付ける

9 空のガラスジャグを保温プレートに載せる

10 Calc ボタンを押す

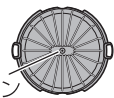
- ・「ピッ」と鳴って、Calc が点滅し、すすぎが始まります。

11 すすぎが終わったら、ガラスジャグにたまった水を捨てる

- ・㊤ と Calc が消灯します。ガラスジャグは水でよくすすぎます。
- ・「内部洗浄」（8 ページ）を 2 回行います。

故障かな？

以下を確認しても正常に動かない場合は、ブラウンハウスホールドお客様相談室（18 ページ）にご連絡ください。

症状	考えられる原因	対処のしかた
ディスプレイに現在時刻が表示されない	電源プラグがコンセントから抜けている	電源プラグをコンセントに差し込む
ディスプレイに「2:00」が点滅表示される	現在時刻が設定されていない	現在時刻を設定する
	長時間電源プラグが抜けていた	
タイマー時刻が設定できない	レバーが「Coffee」に合っていない	レバーを「Coffee」に合わせる
	現在時刻が設定されていない	現在時刻を設定する
タイマー抽出を設定できない	タイマー時刻が設定されていない	タイマー時刻を設定する
抽出ランプが点滅し、操作ができない	タイマー抽出が設定されている	Timer ボタンを押してタイマー設定を解除する
お湯が出ない	電源プラグがコンセントから抜けている	電源プラグをコンセントに差し込む
	スタンバイモードになっている	Ⓢを押す
	抽出モードボタンを押していない	抽出モードボタンを押す
	水タンクに水が入っていない	水タンクに水を入れる
	本体ふたが開いている	本体ふたを閉める
お湯しか出ない	コーヒー粉がフィルターに入っていない	コーヒー粉をフィルターに入れる
コーヒーやお湯が漏れる	フィルターホルダーが正しく取り付けられていない	フィルターホルダーを正しく取り付ける
	コーヒー粉が多すぎる	コーヒー粉を目安に合わせて入れる
	コーヒー粉が細かすぎる	中細挽き、または中挽きのコーヒー粉を使用する
	ペーパーレスフィルターとペーパーフィルターを同時に使っている	どちらか一方のみを使用する
	フィルターホルダーのパッキンが外れたり傷ついたりしている 	お求めの販売店またはブラウンハウスホールドお客様相談室に相談する（18 ページ）
抽出に時間がかかる	ペーパーレスフィルターが詰まっている	ペーパーレスフィルターをお手入れする
コーヒーにコーヒー粉が混ざる	フィルターが正しく取り付けられていない	フィルターを正しく取り付ける
	ペーパーフィルターが破れている	新しいペーパーフィルターを使用する
	コーヒー粉が細かすぎる	中細挽き、または中挽きのコーヒー粉を使用する
Ⓢが点滅する	レバーが「Ⓢ」に合っている	レバーを「Coffee」か「Water」に合わせる
抽出後に水タンクに水が残る	水量は抽出量選択ダイヤルによって設定されるため異常ではありません	
液晶に Lid と表示される	本体ふたが開いている	本体ふたを閉める
液晶に E と数字（例 E02）が表示される	—	電源プラグを抜き、5 分待って電源を差し込むしばらくたっても変わらない場合は、ブラウンハウスホールドお客様相談室に相談する（18 ページ）
液晶に H1、H2、H3 と表示される	水硬度設定が表示されている	初期設定では H1 に設定されています。誤って H2 や H3 にした場合は Calc ボタンを約 2 秒長押しし、Set ボタンを押して H1 を選択する

仕様

製品名称	ブラウン マルチサーブ コーヒーメーカー	
型式番号	KF9170	
定格	電圧／周波数	100V ／ 50 - 60Hz
	消費電力	1400W
外形寸法（約）	幅 330 x 奥行き 200 x 高さ 385 (mm)	
質量（約）	4.6kg	
水タンク容量（約）	1.6L (MAXの目盛り)	
付属品	計量スプーン、活性炭フィルター	

※待機電力は約 0.5W です。

別売品

お買い上げの販売店または当社オンラインショップでお求めください。
オンラインショップ URL <http://shop-casa-delonghi.com>

- ガラスジャグ
- ペーパーレスフィルター [型番：BRKF-PF]
- 活性炭フィルター [型番：BRSC004]
- コーヒーマシン用除石灰剤 [型番：BRSC013]

アフターサービス

1) 使用中に異常（★）が生じた場合

- ・ただちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後「故障かな?」（16 ページ）で調べても正常に機能しない場合は、お求めの販売店またはブラウンハウスホールドお客様相談室（下記）にご相談ください。

【★以下のような場合には、点検および修理が必要です】

- ・使用中、電源プラグ・コード、コンセントが異常に熱くなる
- ・本体に水などの液体をこぼした
- ・電源プラグ・コードが変形／破損している
- ・本体に強い衝撃を与えた
- ・取扱説明書どおりに使用しているのに、正常に機能しない

2) 万一、故障／損傷した場合は、保証書に記載されている販売店に

1. お買い上げ日
2. 製品名と型式番号
3. 故障の状況を連絡のうえ、修理を依頼してください。

※修理品の送付先については、お電話またはホームページ（下記）でご確認ください。

※修理品を送付する場合は、必ず故障の状況を記載したメモと、保証期間内の場合は保証書を同封してください。

※本製品のメーカー保証範囲は保証規定によります。保証期間を経過した製品についても、お問い合わせや有償での修理をうけたまわります（補修用性能部品保有期間内）。

3) 補修用性能部品の保有期間について

- ・当社では、この製品の補修用性能部品について、最終輸入日を起点に 5 年間保有しております。

※補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

4) 愛情点検について



愛情点検

- ・保証期間（1 年）が過ぎて、少しでも気になる点がございましたら、安全のために専門技術者による点検（お預かり）をおすすめします。点検の依頼および料金などにつきましては、下記までお問い合わせください。

5) 製品の廃棄について

- ・お住まいの地方自治体の定める方法に従って廃棄してください。

以上、アフターサービスについてご不明の点がございましたら、お求めの販売店または下記までお問い合わせください。

ブラウンハウスホールド製品サービス窓口について

ブラウンハウスホールドお客様相談室 0120-998-879

〒201-0012 東京都狛江市中和泉 5-33-37

ホームページからもご相談いただけます。

www.braunhousehold.com/ja-JP/

受付時間

9:30～17:00

(祝日を除く月～金)

保証書

ご販売店様へ、※印欄は必ずご記入ください。

持 込 修 理

製品名：ブラウン マルチサーブ コーヒーメーカー		型式番号：KF9170	
お客様	ご氏名： _____ 様	TEL： - -	
	ご住所： 〒 _____		
販売店	※店名・住所・TEL： _____		
	_____ 印		
※お買い上げ日： 年 月 日		保証期間：お買い上げ日より1年間	保証対象：本体

保証規定

本書は、お客様の正常な使用状態において万一故障した場合に、本書記載内容の範囲で無料修理を行うことをお約束するものです。

- お買い上げの日から表記期間中故障が発生した場合は、本書と購入証明（レシート、領収書、配送伝票でも可）をご準備の上、下記までご連絡ください。お買い上げ販売店独自の保証やその他サービスがある場合は販売店へご相談ください。
- ご贈答品などで本保証書に記入しているお買い上げの販売店にご相談ができない場合には、下記に直接ご連絡ください。
- 次のような場合には、保証期間内でも有料修理になります。なお、有料修理の場合の送料はお客様のご負担となりますので、ご了承ください。
 - イ．本書のご提示がない場合
 - ロ．使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障・損傷
 - ハ．お買い上げ後の取付場所の移動、落下、輸送などによる故障・損傷
 - ニ．火災・公害・塩害・ガス害（硫化ガスなど）・異常電圧・定格外の使用電源（電圧、周波数）および地震・雷・風水害、その他天災地変など外部に原因がある故障・損傷
 - ホ．一般家庭用以外（例えば業務用、車両、船舶への搭載）に使用された場合の故障・損傷
 - ヘ．購入証明（レシート、領収書、配送伝票でも可）が無く、お買い上げ日、お客様名、販売店名が確認できない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
 - ト．消耗品が損耗し、取り替えが必要な場合

チ．付属品および本体から取り外せる部品の破損・紛失

- 修理に際して代替部品に交換する場合があります。この場合、交換した部品は弊社が任意に回収のうえ適切に処理、処分させていただきます。
- 故障状態、その他の事情により、修理に代えて同機種での製品交換、または同等能力を有する他機種への交換となる場合があります。
- 故障によりお買い上げの製品が使用できないことによって生じた損害については補償いたしません。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is valid only in Japan.)
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

- この保証書は、本書に記載されている期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、下記にお問い合わせください。
- 補修用性能部品の保有期間につきましては取扱説明書「保証とアフターサービス」をご覧ください。

お客様にご記入いただいた保証書の写しは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために、記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

デロンギ・ジャパン株式会社

TEL. 0120-998-879 〒 201-0012 東京都狛江市中和泉 5-33-37

※この取扱説明書に記載されている連絡先の名称、電話番号、所在地、営業時間は変更することがありますのでご了承ください。

© Copyright 2022. All rights reserved De'Longhi Braun Household GmbH

